



学校通信

平成31・令和元年度 第4号
令和 元年 7月 1日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美

「学校と保護者・地域が協働して教育活動を創る」

校長 岡部 良美

6月土曜授業公開後のアンケートで保護者や地域の皆様からいただいた言葉です。

- ☆ 国語のまるつけで、子供たちが一斉に手を挙げた時にも、先生はあせって次々に対応するのではなく、一人ひとりに丁寧にアドバイスをしてくださっていて、人一倍行動がゆっくりな息子にとってありがたい授業だと思いました。
- ☆ 明るく楽しい授業を進めておられたと思います。子供もたくさん挙手をされていて、数回あてていただき、元気よく答えていて自信がついているように思いました。
- ☆ 音楽の授業で、子供たちが楽しみながら、クラスのお友達と共に学び合う姿に感銘を受けました。歌いながら自然に子供たちの顔に笑顔があふれ、手拍子がおき、とてもすてきな授業でした。
- ☆ 息子が教室に残って日直の仕事をしている姿をお友達のお母様が見守ってくださり、私に頑張っていましたよ、と教えてくださったことに感謝するとともに、息子の成長を知ることができ、嬉しく思いました。
- ☆ 先生が説明するよりも、子供たちに気付いたことを挙手させて発表させることが多かったです。ただ先生の質問の意図が伝わりにくいような気がしました。「わかる・できる学習指導」という観点から考えると、明快な質問が必要だと感じます。
- ☆ 算数の習熟度別クラスの授業を拝見しましたが、ほとんどのクラスが同じ問題を授業していたので、レベルによって教え方が違っていたのかよくわかりませんでした。
- ☆ 俳句の授業ではとても盛り上がっていました。息子は俳句好きなのでプリントを張り切って早く終わらせ、先生に「もう終わったよ」的なことを言っていました。親としては終わったなら静かに待ちなさいと思ったのですが、先生は「すごい」的な言葉をおっしゃってくださり優しく対応していただきました。他の子が知っていることをポンポン発言しても、今は発言すべき時ではないことを教え、後から「〇〇くんも言っていましたか・・・」という説明を加えることで、「基本的な規律の定着」「誇りと自信をもたせる指導」を両立させているのだと感じました。

そして、『子供に誇りと自信をもたせる学校づくり』の実現に向けたグランドデザインの中でお伝えした学校教育アンケート項目のうち、次の3点についてお聞きした集計結果です。(数値は、「大いに当てはまる」・「当てはまる」の順です。)

- 子供たちに、わかる・できる学習指導を進めている。(50%・38%)
- 子供たちの基本的な規律の定着を目指して指導を進めている。(51%・37%)
- 子供たちに、誇りと自信をもたせる指導を進めている。(45%・35%)

6月アンケートから、教育目標の基底目標である『誇りと自信をもって、よりよい社会の創り手となる子供』を育てるために協働していただけていると感じました。

今年度は、「探究的な学習の創造」をテーマに、生活科と総合的な学習の時間を中心に研究を進めています。5月には2年生が町探検を主活動とする「まちはたからばこ」の学習をしました。6月には6年生が目的をもった取材活動を取り入れた「軽井沢ジャンプタイム」の学習をしました。生活科では、思いや願いをもち「体験」と「表現」を繰り返し、総合的な学習の時間では、自ら「課題設定」「情報収集」「整理分析」「まとめ表現」、さらに生じた課題を探究していくスパイラル的な学習を進めていきます。



学びの場は『地域の人、こと、もの』です。地域を知り、愛着をもち活躍する子供、地域から褒められる子供を育てます。皆様の協働をお願いいたします。